

親成人 第69回砂川市成人式

砂川市の新成人を祝う式典が1月8日(日)、地域交流センターゆうで開催され、新成人たちが大人としての一步を踏み出しました。今年の新成人は平成8年4月2日から同9年4月1日までに生まれた市内在住者、出身者163人が対象で、このうち120人が出席しました。振り袖や紋付きはかま、スーツに身を包んだ新成人たちは、旧友や親しい仲間たちと成人となった喜びを分かち合い、会場内に笑顔の花を咲かせました。



新成人代表の「とば



新成人代表 片山 竜登 さん

今年の新成人式のテーマは、「ありがとうを贈ろう」です。お世話になった方々や仲間たちに、日頃伝えられない感謝の気持ちを伝えられるような式になれば良いと思います。このようなテーマにいたしました。

本日、私たちが晴れて成人の日を迎えることが出来たのは、さまざまな方々からの支えがあったることと思います。地域の方々、お世話になった先生方、そして今まで愛情をもって育ててくれた家族、私たちの成長を温かく見守ってくださったすべての方々へ感謝の気持ちを伝え、新たな一步を踏み出す一日になります。

子どもの頃、二十歳というのは遠い存在であり憧れの存在でもありました。瞬間に二十歳になったことに驚きを隠せず、自分が幼い頃に描いていた憧れへと成長できたのか疑問に思うこともあります。しかし、本日

を境に、支えられる側から支える側にならなければならぬのだと実感しています。まだまだ未熟で、家族や周りの方々に支えられることも数多くあると思います。これからは、大人になるという自覚を持ち、支えてくだった方々の期待に応えるべく、日々精進することで己を高めるとともに、あらゆることに力を尽くし、社会に貢献いたします。

一昨年の6月6日に起きた、砂川市一家5人死傷事故。私たち砂川市民にとって、決して忘れてはならない事故となりました。全国的なニュースにもなったその事件を境に、市内において飲酒運転絡みの問題が立て続けに起こりました。薄れている飲酒運転への犯罪意識を一人一人が考え、それに行動を伴わせていく事が、今もこれからも必要なのではないかと思います。

私たちは知識も経験も十分ではありませんが、これからの未来を築く力となるよう成長していきます。そして、自分の考えと行動に、より一層の責任を持ち、私たちの務めを果たしていきます。大人の仲間入りをした今、自由と責任の重みをもう一度深く考え、明るい未来をつくりあげていくことを、ここに誓いまして、成人代表の言葉といたします。